

東北森林科学会

第 20 回大会

2015 年度(平成 27 年度)

プログラム

と き : 2015 年 8 月 27 日 (木) ~28 日 (金)

と ころ : 東京エレクトロンホール宮城<宮城県民会館>

(〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町 3-3-7)

主 催 : 東北森林科学会

共 催 : 一般社団法人 日本森林学会

一般社団法人 日本森林技術協会

後 援 : 宮城県

東北森林科学会第 20 回大会運営委員会

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

岩手大学農学部共生環境課程内

事務局 : 伊藤幸男 TEL & FAX 019-621-6280

E-mail : kikaku@tsfs.jp

大会に参加される皆様へ

受付

日時 8月27日(木) 午前10時より

場所 501,502 展示室 (5階)

受付時に大会講演要旨集を配布致します。また、事前に参加費、懇親会費をお振り込み頂いていない方は、受付時にお支払いください。

大会参加費 (当日) (要旨集代を含む)	2,500 円
懇親会参加費 (当日)	5,000 円

総会

日時 8月27日(木) 16:00-17:00

場所 601 大会議室 (6階)

懇親会

日時 8月27日(木) 17:30-19:30

場所 KKR ホテル仙台 2階 磐梯の間 (仙台市青葉区錦町 1丁目 8-17、電話(代表) 022-225-5201)

編集委員会

日時 8月27日(木) 10:30-11:30

場所 603 小会議室 (6階)

理事会

日時 8月27日(木) 11:30-13:00

場所 603 小会議室 (6階)

昼食、宿泊等について

昼食及び宿泊につきましては、各自でご対応いただきますようお願い致します。周辺に有料駐車場がありますが、なるべく公共交通機関をご利用ください。

大会日程

	8月27日(木)		8月28日(金)	
9:30				
10:00	受付		ポスター準備	口頭発表
10:30			ポスター準備	
11:00	編集委員会			
11:30	ポスターセッションA	理事会		
12:00				
12:30				
13:00			ポスター回収	
13:30				
14:00	ポスター回収／準備	テーマ別セッションA		
14:30				
15:00				
15:30				
16:00	東北森林科学会総会			
16:30				
17:00				
17:30				
18:00				
18:30	懇親会			
19:00				
19:30				

テーマ別セッション

■ テーマA

8月27日(木)13:00-16:00 〈601大会議室(6階)〉

海岸防災林の再生・造成に向けた取組

コーディネーター：織部雄一郎（森林総合研究所林木育種センター東北育種場），
今野幸則（宮城県林業技術総合センター）

東北地方の海岸防災林は、東日本大震災の津波被害により太平洋側で多くの防災林が消失したほか、日本海側においてもマツ材線虫病による被害林が多々見受けられる。海岸防災林の再生及び造成については、すでに、マツノザイセンチュウ抵抗性マツ苗の供給に関する研究が広くなされ、津波被害地において植生地盤造成地での植栽も実施されているが、新たな課題も生じている。本セッションでは、これらの取り組みの現状や課題を紹介し、海岸防災林の再生のあり方について意見交換を行いたい。

- 1 東北における植物ホルモン処理によるクロマツ雌花の誘導（Ⅱ） 田中功二（青森県産技セ林研）
- 2 東北・寒冷地における抵抗性クロマツのさし木（Ⅱ） 今野幸則（宮城県林技セ）
- 3 抵抗性クロマツ採種園種子からの不定胚によるクローン苗木の大量増殖技術の開発
大西 昇・安野紀子（キリン（株）R&D 本部基盤技術研究所）・丸山 毅（森林総研）
- 4 東北に植栽した西日本と東北産抵抗性クロマツ苗木の成育状況
川上鉄也（福島県林研セ）・渡辺公一（山形県森研セ）
- 5 仙台湾沿岸の海岸防災林復旧事業区における掻き起こし処理が盛土の土壌水分へ及ぼす効果の検討
小野賢二（森林総研東北）・今矢明宏（森林総研）・高梨清美（東北森林管理局仙台森林管理署）・篠宮佳樹・坂本知己（森林総研東北）
- 6 盛土を伴う海岸防災林復旧工事と植栽までの手順
伊藤智弥（東北森林管理局仙台森林管理署仙台湾沿岸治山事業所）
- 7 盛土上に造成した海岸防災林の植栽木の生育状況－千葉県九十九里浜の事例－
小森谷あかね（千葉県農林総合研究センター森林研究所）・小野賢二・坂本知己・篠宮佳樹（森林総研東北）・今矢明宏（森林総研）
- 8 海岸林造成の場で発生したマツ類シュートの滞水被害と枯死に至る生理過程（養分欠乏仮説）
橋本良二（放送大学岩手学習センター）・菅野編美・白旗 学（岩手大農）・照井隆一・村井 宏（森と緑の研究所）

ポスターセッション

今大会も2日間に分けて実施します。セッション開始時刻までに、ご自分の番号（下記参照）のパネルにポスターを貼ってください。開催要領でご案内のとおり、パネルは「幅 180cm、高さ 90cm（横長）」です。コアタイムには発表者はポスター前に立って説明し、質疑を受けて下さい。

ポスターセッション1日目

- 8月27日（木）11:30-14:00 〈501,502 展示室（5階）〉
- 10:30-11:30 ポスター準備
- 11:30-12:30 コアタイム
- 14:00-16:00 ポスター回収

- 1 休耕田におけるヤナギバイオマス生産の可能性
宮下智弘・古澤優佳・渡邊 潔・吉崎 明（山形県森研セ）
- 2 選択的刈り払いによる学校林の整備効果
高橋 文（山形県森研セ）・大築和彦（山形県村山総合支庁森林整備課）・林田光祐（山形大農）
- 3 中小規模森林所有者層の林業経営意識に関する研究
大塚生美（森林総研東北）
- 4 スギカミキリ被害の家系間差とさし木検定林との比較
蓬田英俊・成松真樹・新井隆介（岩手県林技セ）・小澤洋一（岩手県森林整備課）
- 5 成長に優れたスギのコンテナ育苗
大沼哲夫・川上鉄也（福島県林研セ）・小澤 創（福島県森林整備課）
- 6 カラマツコンテナ苗の病害
升屋勇人（森林総研東北）
- 7 スギ雄花寄生菌（*Sydowia japonica*）の隣接雄花への自然感染率
窪野高德（森林総研・科学園）・高橋由紀子（森林総研）

- 8 モンゴル南北森林地帯におけるカラマツの成長評価
川合駿之介・野堀嘉裕・遠藤麻央・武田 岬 (山形大農)・武田一夫(帯広畜産大)
- 9 再造林率の違いによる100年間のスギ人工林資源の将来推移のシミュレーションについて
澤田智志・加藤貴志・橋 政行 (秋田県農林水産部)
- 10 山形県遊佐町海岸林におけるクロマツ成長量評価
武田 岬・遠藤麻央・川合駿之介・野堀嘉裕 (山形大農)
- 11 高密度と低密度の航空機レーザ計測データの比較分析
小谷英司 (森林総研東北)
- 12 全木利用低コスト作業システムへの取り組み
剣持喜哉 (温海町森林組合)・渡邊 潔 (山形県森研セ)
- 13 スギおよび広葉樹二次林における将来木施業試験地の設定
藤田泰崇・麻生臣太郎 (岩手大農)・Fabian Keck・Johannes Trzebiatowski (ロッテンブルグ林業大学)・
菊地智久・菅原大輔・佐々木一也 (岩手大農)・三田林太郎・藤井貴史・横山太希 (三田農林(株))・小坂
正彦・東井 茂 (岩手林業(株))・Sebastian Hein (ロッテンブルグ林業大学)・澤口勇雄 (岩手大農)
- 14 森林構造の水平トモグラフィ解析システムの開発
野堀嘉裕 (山形大農)
- 15 東北日本海側ブナ二次林の収量-密度図の構築
遠藤麻央・川合駿之介・武田 岬・野堀嘉裕 (山形大農)
- 16 蔵王で大発生したトウヒツツリヒメハマキのその後の動向と被害終息要因
磯野昌弘 (森林総研東北)
- 17 カラマツ人工林における間伐が繁殖鳥類群集に与える影響 (IV) - 林齢52年での間伐後5年目までの変化 -
鈴木祥悟 (森林総研東北)・由井正敏 (東北鳥類研究所)・伊達 功 (伊達生物調査事務所)・西岡裕介 (グ
ランドデザイン・ワークショップ)・青山一郎 (森林技術総合研修所林業機械化センター)
- 18 山形県におけるニホンジカの出没-目撃情報の整理と目撃地点の周辺環境 -
千葉 翔・古澤優佳・斉藤正一 (山形県森研セ)
- 19 メッシュ農業気象データによるマツノマダラカミキリの発生予測
土屋 慧・木村公樹・伊藤晶明・(青森県産技セ林研)・今 純一(青森県樹木医会)
- 20 青森県南西部のナラ林における養菌性キクイムシ類の群集構造
伊藤昌明・土屋 慧 (青森県産技セ林研)
- 21 きこの菌糸成長に及ぼす農業副産物の添加効果-ネギとアスパラガスの利用-
菅原冬樹・鈴木博美 (秋田県林研セ)
- 22 海藻添加菌床シイタケ栽培における品質向上及び放射性物質移行低減効果の検証
今埜実希・渡邊広大・千葉直樹・今野政憲 (宮城県林技セ)・佐藤資之 (宮城県食用茸協同組合)
- 23 放棄竹林を栽培林へ復元するための伐採方法の検討
古澤優佳・中村人史 (山形県森研セ)
- 24 針葉樹伐採後ワラビ植栽地の植生推移とワラビ被覆
中村人史・渡部公一・上野 満 (山形県森研セ)
- 25 キノコ栽培における籾殻くん炭の添加効果
鈴木博美・菅原冬樹 (秋田県林研セ)

ポスターセッション2日目

8月28日(金) 10:30-13:00 〈501,502 展示室 (5階)〉

9:30-10:30 ポスター準備

12:00-13:00 コアタイム

13:00-14:00 ポスター回収

- 1 ヤマボウシの果実の形態・成熟フェノロジーと動物による種子散布
高橋章文 (山形大院農)・林田光祐 (山形大農)
- 2 陸上と水界生態系の呼吸スケールリング 個体呼吸は系統、環境どちらで決まるのか?
相澤 拓・芳土戸啓・王莫非・森 茂太 (山形大農)

- 3 ナラ枯れ被害跡の林分での土壌動物と鳥類群集の変化
齊藤正一・上野 満・高橋 文（山形県森研セ）・柴田銃江（森林総研）・八木橋勉（森林総研東北支所）
中静 透（東北大院）
- 4 16年間の個体の開花履歴で評価したブナ林の豊凶推移 飯沼久仁佳（山形大院農）小山浩正（山形大農）
- 5 秋田県における過去10年間のブナ開花結実状況と地域性
和田 覚・長岐昭彦・新田響平・成田義人（秋田県林研セ）・岩谷綾子（秋田県仙北地域振興局）
- 6 新規造成防災林と既存緑地における地表徘徊性甲虫相の比較
佐野哲也・平山知幸・伊藤 遼・矢口史也（東北工業大学）
- 7 海岸林造成のためのクロマツコンテナ苗の当年生苗利用と通年植栽の可能性
八木橋勉・中村克典・齋藤智之（森林総研東北支所）・松本和馬（国際環境研究協会）・八木貴信・
柴田銃江・野口麻穂子・駒木貴彰（森林総研東北）
- 8 異なる盛土資材を用いたクロマツ苗の活着と成長
福山文子（福島県林研セ）・杉浦篤俊（福島県相双農林事務所）・川口知穂（福島県いわき農林事務所）
- 9 異なる競合植生高がカラマツ植栽木に与える影響 新井隆介・成松眞樹（岩手県林技セ）
- 10 根張りは選木、密度管理の指標となり得るか 新田響平・金子智紀（秋田県林研セ）
- 11 秋田県における里山林の種組成と林分構造 成田義人・金子智紀（秋田県林研セ）
- 12 多雪地域におけるスギコンテナ苗の初期成長に関する要因 渡部公一（山形県森研セ）
- 13 山形県スギ細り表の作成 上野 満（山形県森研セ）
- 14 屋外で越冬させた1年生スギコンテナ苗の雪害状況 佐藤博文（秋田県林研セ）
- 15 スギコンテナ苗の植栽二年目における下刈り省略による雪害への影響
長岐昭彦・新田響平・金子智紀（秋田県林研セ）
- 16 東北森林管理局が実施した低コスト林業取組事例の報告
笠井史宏（東北森林管理局森林整備部）・増田 悠介（東北森林管理局森林技術・支援センター）
- 17 優良種苗の大苗植栽によるスギの下刈り省力化試験
玉城 聡（森林総研林木育種セ東北）・星比呂志・板鼻直榮（森林総研林木育種セ）・野口麻穂子
（森林総研東北）・宮下智弘（山形県森研セ）・外館聖八朗（ノースジャパン素流協）
- 18 海岸防災林の復旧に向けた抵抗性クロマツの増殖
根岸直希・浦田信明・河岡明義（日本製紙(株)アグリ・バイオ研究所）・塩見義郎・芦田次郎（日本製紙総
合開発(株)緑化事業部）・今野幸則（宮城県林技セ）
- 19 東北地方の多雪地帯における2013/2014年冬季の落葉広葉樹林、スギ林の降雪遮断特性および融雪特性
阿部俊夫・久保田多余子（森林総研東北）・野口正二（森林総研）
- 20 津波で被災した青森県太平洋沿岸の海岸林における被害の経過と新規植栽木の生育状況等について
木村公樹（青森県産技セ林研）
- 21 三沢市五川目地区海岸林における地下水と土壌水分の観測 久保田多余子（森林総研東北）
- 22 海岸防災林再生事業において造成された盛土の間隙組成
篠宮佳樹・小野賢二（森林総研東北）・今矢明宏（森林総研）・坂本知己（森林総研東北）
- 23 津波被災後の再植林地におけるクロマツの光合成特性 安田幸生・小野賢二・中村克典（森林総研東北）
- 24 海岸植栽木の海水耐性評価のための苗木浸水試験
中村克典・小野賢二・相川拓也・八木橋勉・小谷英司・安田幸生・久保田多余子・阿部俊夫・篠宮佳樹・
坂本知己（森林総研東北）・平井敬三（森林総研）・木村公樹（青森県産技セ林研）
- 25 岩手県に導入された大型タワーヤーダによる集材作業の分析
安住吉功（岩手大院農）立川史郎・澤口勇雄（岩手大農）
- 26 燃料用広葉樹材の乾燥特性 渡邊 潔（山形県森研セ）

口頭発表

8月28日（金）9:30-12:30 〈601大会議室（6階）〉

口頭発表は1題15分（発表12分、質疑応答3分）厳守でお願いします。発表者は、次の発表の座長を務めて下さい。使用機材は液晶プロジェクターです。配付資料のある発表者は御自身で必要枚数をご準備下さい。USBフラッシュメモリあるいはCD-ROMに保存したPowerPoint用ファイルを、大会1日目の8月27日中に会場係にお渡しください。なお、会場のパソコンのWindows7、PowerPointのバージョンは「2010」の予定です。円滑な進行のため、パソコンの持ち込みはお断りいたします。

- 9:30-9:45 1 ブナ天然林における保育作業及び間伐効果の検証
岡浦貴富（東北森林管理局森林整備部）・増田悠介（東北森林管理局森林技術・支援センター）
- 9:45-10:00 2 ブナ林が豊作になる条件の地域による違い—山形と北海道—
小山浩正（山形大農）・八坂通奏・寺田文子（道総研林業試験場）
- 10:00-10:15 3 地掻き強度がカラマツ・アカマツ人工林皆伐後の実生更新と萌芽再生に及ぼす影響
杉田久志（森林総研四国）・高橋利彦（木工舎「ゆい」）・猪内次郎（（有）フォレストサービス）・田口春孝（（株）小岩井農牧）
- 10:15-10:30 4 3～5年経過伐採跡地での除草剤散布、地拵、植栽の労働量と費用
外館聖八朗・吉田佳右（ノースジャパン素流協）
- 10:30-10:45 5 丸太自動認識システム「速測デジ」の測定事例から見た活用可能性
吉田佳右・外館聖八朗（ノースジャパン素流協）
- 10:45-11:00 6 木質外構材の機能性・耐久性向上に向けたメンテナンス手法の開発
玉川和子（宮城県林技セ）
- 11:00-11:15 7 木質バイオマス再生利用技術の開発
皆川 豊・梅田久男・玉川和子・今埜実希・今野幸則（宮城県林技セ）・織茂俊泰・由井輪人・武田 隆・佐々木経一（佐藤工業（株））
- 11:15-11:30 8 落葉除去等によるタケノコの放射性Cs濃度への影響について
小川秀樹・伊藤博久・土屋 南（福島県林研セ）・吉田博久（首都大学東京院）
- 11:30-11:45 9 津波被災海岸林跡に造成した盛土上の植栽地における地温の季節変化と被覆工の影響
齋藤武史（森林総研東北）・村井 宏（森と緑の研究所）
- 11:45-12:00 10 岩手県における津波被害跡地に植栽したマツ類および広葉樹類の初期生育状況4—枯死木発
生経過の比較—
小岩俊行（岩手県林技セ）
- 12:00-12:15 11 三陸南部の津波浸水地の海岸林を構成する広葉樹種間のサイズと樹冠の浸水程度を考慮した
耐塩水性の比較
林田光祐（山形大農）・本田詩織（山形大院農）
- 12:15-12:30 12 全陸上植物個体に共通した根呼吸への配分ルール
森 茂太・王莫非・芳土戸啓・相澤 拓・芳賀芳彦（山形大農）・フェリオジュアンペドロ（ス
ペイン、リエイダ大学）・春間俊克・山路恵子（筑波大）・石田 厚（京都大）・小山耕平（帯
広畜産大）

会場等の案内

東京エレクトロンホール宮城へのアクセスは、地下鉄、バス等をご利用ください(<http://miyagi-hall.jp/access/>)。

宿泊については各自ご対応ください。

大会会場案内図



【JR仙台駅から】

- タクシー利用の場合：仙台駅西口タクシー乗り場から乗車。(所要時間約7分)
- 地下鉄利用の場合：2番線泉中央方面乗車→勾当台公園駅下車→出口「公園2」から徒歩300メートル(所要時間約7分)
- バス利用の場合：仙台市営バス、JR仙台駅西口29番乗り場から、定禅寺通り経由交通局大学病院行き乗車→定禅寺通り市役所前下車(所要時間約12分)

大会に関する問い合わせ先

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-8
岩手大学農学部共生環境課程内
東北森林科学会 第20回大会運営委員会
事務局：伊藤 幸男 TEL & FAX 019-621-6280
E-mail：kikaku@tsfs.jp